

学研 おんがく通信

Web版も
あるよ
♪バックナンバーが
閲覧できる!
♪ウェブならではの
情報が満載!

10月号

2012
年
9
月
25
日

Gakken

(株)学研パブリッシング 音楽出版事業室
〒141-8412 東京都品川区西五反田2-11-8
Tel. 03-6431-1220

学研 おんがく .net <http://gakken-publishing.jp/ongaku/> 学研 電子ストア <http://ebook.gakken.jp/gstore/>

とある休日の朝。いつもより遅い目覚ましが鳴るものの、日曜日だから、もう少し…寝ていいかしら。あと…5分…。なんてうとうとしていると…突然下の階から、ジャーンジャーンジャジャーンと、大音量の「ニルンベルクのマイスターズンガー」が、冒頭の壮大な響きに、びっくりして起きてしまいました。でもなぜか、少し贅沢な気分にもしかして、これはすごく良いかもしれない…目覚ましクラシック! (め)

究極の名盤を聴く① ベートーヴェン ピアノ・ソナタ第8番「悲愴」



23人の音楽評論家を選んだ究極の名盤ガイド『クラシック CD エッセンシャル・ガイド 150』をもとに、歴史に残るピアノ曲の名盤の数々をご紹介します。名演奏家であればあるほど「自分だけの技術」「自分だけの解釈」を確立して、その個性が演奏に表れます。同じ曲目の名演奏家たちの演奏を聴きくらべることで、その曲の新しい魅力に気づくかもしれません。楽譜を広げてじっくりと聴いてみてください。

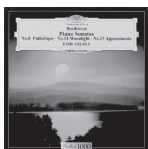
名盤 BEST 5

1. ヴィルヘルム・バックハウス (1958年)
[Decca/UCCD7002]
2. エミール・ギレリス (1980年)
[DG/4000362 (輸入盤)]
3. ルドルフ・ゼルキン (1962年)
[Sony Classical/88691988302 (11枚組)]
4. ウラディーミル・アシュケナージ (1980年)
[Decca Virtuoso/4783349 (輸入盤)]
4. ワルター・ギーゼキング (1956年)
[Istituto Discografico/IDIS6573 (輸入盤)]
6. クラウディオ・アラウ (1986年)
[Decca Collectors/4783694 (12枚組)]
6. ヴィルヘルム・ケンプ (1965年)
[DG Originals/447404 (輸入盤)]

(輸) = 輸入盤



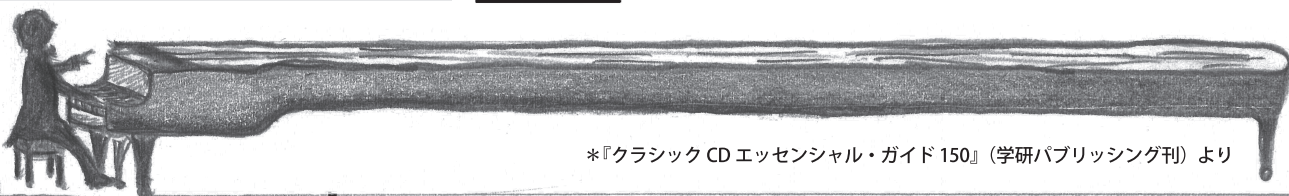
ヴィルヘルム・バックハウス Wilhelm BACKHAUS [1884-1969 (ドイツ)]
「鍵盤の獅子王」の異名をとるバックハウス。ベートーヴェンの解釈・演奏に関して、他の追随を許さないスペシャリストです。現代の「洗練」された演奏とは違う、「素朴」で「骨太」な演奏が彼の特徴。そこにはバックハウス自身の人間的な温かさが溢れています。



エミール・ギレリス Emil GILELS [1916-1985 (ロシア)]
「質実剛健」「鋼鉄のタッチ」という言葉で評されてきたギレリスですが、晩年はそうした力の部分が抑制され、音楽に寄せる誠実さ、謙虚さを秘めた「心の篤い」演奏が多くなります。この演奏も序奏から終曲まで、技術の完璧さを超え、心豊かな息づかいがしみわたっています。



ルドルフ・ゼルキン Rudolf SERKIN [1903-1991 (チェコ→アメリカ)]
前述の二人に比べ、ゼルキンが残したベートーヴェンのピアノ・ソナタの録音は決して多くありません。にもかかわらず、音楽に対するひたむきさを強く感じさせる彼の演奏は——特に「悲愴」「月光」「熱情」の3大ソナタや後期のソナタ群において——高い評価を得ています。



*『クラシック CD エッセンシャル・ガイド 150』(学研パブリッシング刊)より

編集部 これがおススメ!!



バックハウス
ブラームス/ピアノ協奏曲第2番 変ロ長調 (1967年)
カール・ベーム指揮
ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団 [Decca Legends/466380 (輸入盤)]
バックハウスが得意としたピアノ協奏曲といえば、ベートーヴェンの第4番とブラームスの第2番。特にこのベーム&ウィーン・フィルとの共演はとびきりの名盤です!! 深くて重厚なピアノと、豊潤で色彩あざやかなオーケとのバランスが絶妙!



ギレリス
ベートーヴェン/ピアノ協奏曲第3番 ハ短調 (1969年)
ジョージ・セル指揮
ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団 [ORFEO DOR/ORFEO484981 (輸入盤)]
ザルツブルク音楽祭のライブ録音です。「エグモント」序曲から一気に惹きこまれ、3番の緩徐楽章でひとしきり泣き、「運命」交響曲で燃えあがる…。おかげさでなく、ライブならではの興奮&感動を味わえる物凄い1枚です。

びあめどりーむ 情報

びあめどりーむ
20th
Anniversary

「びあめどりーむ」シリーズの創刊について、3回目の今回は「小学生のための小曲集上・下巻」をご紹介します♪「どりーむ」シリーズの併用曲集として「レパートリー」(全6巻・「テキスト」に完全準拠)が1997年に発刊されたことは前回ご紹介したとおり。これとは別に、特に『小学生』のための、「発表会」も意識したコンパクトな併用曲集があれば…!? ということで、1998年に出版されたのがこの2冊です。今回は「がくてんどりーむ」をご紹介します! (か)



10月27日は、パガニーニのお誕生日!! (1782~1840)



♪ヨーヨー・マ
(アメリカ/チェリスト/1955.10.7生)

♪ゲオルク・ショルティ
(イギリス/指揮者/1912.10.21生)

♪ジョルジュ・ビゼー
(フランス/作曲家/1838.10.25生)

♪ニコロ・パガニーニ
(イタリア/Vァイオリニスト、作曲家/1782.10.27生)

音楽史では、19世紀の前半はヴィルトゥオーゾの時代と呼ばれることがあります。その源泉はイタリアの海港都市ジェノバ生まれの天才ヴァイオリニスト、ニコロ・パガニーニです。同じく超絶技巧で有名な作曲家・ピアニストであるリストは、その音楽家としての経歴を「私はピアノのパガニーニになる」という有名な言葉で踏み出したのです。つまりパガニーニは超絶技巧の元祖であり、卸元のような存在なのです。ただその人間離れたテクニクは「悪魔と契約を交わして得られたものだ」という噂が生涯つきまといました。

パガニーニはその当時では曲芸とでもいうしかないさまざまなヴァイオリン奏法を開発し、イタリアの諸都市から西欧の各国を席卷していきます。その熱狂的な人気は、20世紀のビートルズ以上であったとも言われています。コンサートを開催すれば高額のチケットにもかかわらず多くの人々が殺到し、うなるほどの大金が転がりこんできたのです。

ひとつの逸話があります。赤貧にあえいでいたフランスの作曲家ベルリオーズの「幻想交響曲」をパリで聴いたパガニーニが、ベートーヴェンの後継者として2万フランという大金をばんと贈ったというのです。今日の日本円でおおよそ2千万円といったところでしょうか。

無論、酔狂ではありません。パガニーニはベートーヴェンの音楽の熱烈な信奉者であったのです。パガニーニの1年の稼ぎはベートーヴェンの生涯の収入よりひよっとすると多いかもしれません。しかし、創り出される音楽の価値のちがいをパガニーニの天才は痛いほど洞察できるのです。パガニーニが遺した音楽には、その「悪魔との契約で手に入れた」超絶技巧の底流に、微光に包まれた幼少期への追懐、俗世間では喝采されていても神の祝福は得られないことへの心底の嘆き、そして自分がベートーヴェンの後継者とはなれない痛切な断念、そんな人間的な声が聴えて来るように感じることがあります。

代表作「24のカプリース」は超絶技巧の見本帳のような曲集でしかないのか…、機会があればパガニーニの心底の声に耳を傾けてほしいと思います。(え)

今月のあかね先生

新しい『おんぷカード』を制作中です。全音符だけでなく、楽譜によく使われる4分音符のカードを入れたことが大きな特徴!! 絵は、尾田瑞季さんによるお馴染みの動物たち。とってまわいく仕上がります。

10月中旬発売予定。乞うご期待!! (いも)

今月のセミナースケジュール

- 10/2 (火): [愛知県/一宮] 大森楽器
『1音からはじめる楽しいピアノ・レッスン』
- 10/3 (水): [岐阜県/高山] コサカ楽器 カルパティオ店
『子どもが飽きないリズムのレッスン<導入編>』
- 10/19 (金): [静岡県/沼津] 丹沢楽器 沼津店
『1音からはじめる楽しいピアノ・レッスン』
- 10/30 (火): [東京都/町田] スガナミ楽器 町田店
『1音からはじめる楽しいピアノ・レッスン』



●大人の科学マガジンシリーズ新刊のお知らせ

エジソンの感動が時を超えてよみがえる

円筒レコード式エジソン蓄音機

1877年11月、エジソンは円筒を用いた蓄音機のスケッチを描き、世界で最初の音を記録・再生する装置を発明しました。円筒にはスズ箔が巻かれ、エジソンは『メリーさんの羊』を吹き込み、その再生に成功しました。その後、蝋管と呼ばれるレコードとともにエジソンの蓄音機は家庭に普及していきます。

本誌では、歌うま芸人 AMEMIYA さんに「蓄音機録音〜、はじめました〜」と録音実験してもらった記事や、ロウソク以外のもの、チョコレートやクレパスでの録音実験なども行いました。結果は本誌をご覧ください。

の大きめのラップに顔をうずめるようにして大きく発声すると、ロウソクの表面に音の溝が刻まれます。目で見てわかるのでこぼした音の溝に再生針をのせて回転させると、さっき発した音が、なんとなく懐かしいアナログな雰囲気を感じさせられます。

本誌では、歌うま芸人 AMEMIYA さんに「蓄音機録音〜、はじめました〜」と録音実験してもらった記事や、ロウソク以外のもの、チョコレートやクレパスでの録音実験なども行いました。結果は本誌をご覧ください。



レッスンQ&A???

回答してくださったのは
伊能美智子先生

Q. 幼いうちからポリフォニーの学習は必要ですか?

A. 自身を振り返って見て、ピアノを習うからには西洋音楽の歴史や成り立ちを、簡単でもいいですから習い初めに教えてもらっていたら、もっと早く西洋音楽を理解できたのではなかったか…、と思います。

西洋音楽は1本のメロディーをもとにポリフォニーを展開し、和声を生み…(その作曲法の発展の過程でピアノの誕生を迎えます)と、複雑に材料を組み合わせることで大きな建築物を作り上げていくような立体的な考えがその基本にあります。その過程(歴史)を知ること、西洋音楽への理解はぐっと深まるように思われます。具体的には、単なる1個の和音だと思っていた重音が、実は3声のポリフォニー音楽の流れに組み込まれた大切な音たちなのだ、と理解することが、表現する音楽の内容を密にし、音楽することを楽しくするのです。

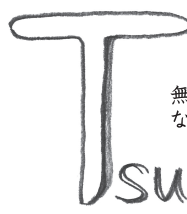
美しいハーモニーを演奏できる素晴らしさに惹かれてピアノを習う人は大勢います。ところがピアノの曲はほかの楽器に比べると、音の数が多くて、譜読みも演奏するのもたいへんです。たくさん練習もしなければならぬ…。すると音楽のことは忘れて、間違えずに楽譜を鍵盤上に移し替える練習だけに集中していきがちです。これは辛い仕事ですからサッサと方向転換したくなってしまうのですが、そのとき、どんなに重なりあった音でも、その1つ1つの音が独立したメロディーに組み入れられて、1曲の大きな流れをつくっているのだ、ということが分かれば練習にも意義を感じ、音楽することがもっと楽しくなるのではないかと期待しています。

つむりの練習手帳

つむりが今、止まりながら練習しているバスターンの曲は「アロエッテ」っていうんだって。「それってどんな曲なの?」って聞いてみたら、「アロエッテは一、人間の女の子の名前で…。あとわかんない。」だって。ちゃんと先生に教わってるのに、こわれたあやつり人形の曲かと思っちゃった。もっと元気にひかなきやダメなんじゃないのかなあ。(トホホお兄)

つむり現在の楽譜

- ☆こどものハノン④
- ☆バスターンピアノバイシックス1
- ☆こどものバイエル⑩(73番)



系属集部のつむりだったー!

無趣味が趣味!だったかも?
なが〜く続けられる趣味なにかあるかな〜 (@や)

twitter やってます! @gakken_music 日々のよしなしごとや最新情報をツイートしています!

follow me!